

## 令和6年度指定管理業務 評価票

### 1 基本事項

(1)公の施設の名称	糸魚川市健康づくりセンター
(2)施設の設置目的	市民の健康づくりの推進を図るとともに、市民に憩いとふれあいの場を提供する。
(3)所管部署	健康増進課 健康づくり係
(4)指定管理者	糸魚川健康づくりパートナーズ
(5)指定期間	令和5年4月1日から令和8年3月31日まで(3年間)
(6)主な事業	<p>①施設の管理運営に関する業務 利用申込の受付、利用料金の徴収、スタジオ・フィットネスルーム・プール・入浴施設の管理運営、施設・設備及び備品の維持管理</p> <p>②健康づくりの推進及び各種教室運営に関すること 運動教室の企画及び実施、フィットネスルームにおける個別指導及びトレーニング機器等の説明、プールエリアにおける水泳指導、市の健康づくり推進事業との連携、施設外での出張指導</p> <p>③その他の業務 職員の雇用・配置及び研修、施設内の目的に適したスペースの利用等</p>

### 2 管理運営状況

(1)令和6年度管理運営状況(主要な取り組み・成果、地域貢献等の実績)			
<p>・令和6年度”はびねす健診”として6月3日(月)9:00~12:00に健康増進課・糸魚川総合病院と連携して健康診断を実施。健診後は”はびねす”の施設を無料で利用できる特典もあり、健康診断という場で健康づくりをPR・利用促進が図れました。</p> <p>・例年の公民館へのお出張指導以外にもデンカ株式会社様への転倒予防セミナー、糸魚川労働金庫様へ軽体操教室、青海政経セミナー様への肩こり腰痛予防教室の実施、また地域医療フォーラムでの講演等を通じて参加者へ施設PRを図り、かつ”はびねす”へ来館できない方に対しても運動参加機会を提供することができました。</p> <p>・施設利用の付加価値を高めるため、ピラティス等の新アイテムを導入。プライベートレッスンを充実させ、個人個人への質の高い指導を提供いたしました。また、ゆず湯等のイベント湯や血管年齢測定、祝日特別スタジオプログラムなどでイベント感を創出し、マンネリ化を抑え利用者のはびねすへの帰属意識を高める取り組みを実施いたしました。・10月14日(月)スポーツの日に全施設無料開放。健康増進課と連携した筋肉量測定会の開催、明治安田生命相互会社と連携して血管年齢やベジチェックなどの測定会の開催、その他スタジオ・プールプログラムを実施しました。(来館者582名)・9月19日~25日の間、SDGs週間ということでフードドライブを実施しました。利用者から未使用の食材を提供してもらい、青海こども食堂へ寄付いたしました。既存利用者の利用頻度向上施策や外部営業など新規利用者の取り込みで、総利用者数は10万人を超える過去最高の101,259名となりました。</p>			
(2)利用状況			
(単位:人)			
	R4年度	R5年度	R6年度
指定管理者名	糸魚川健康づくりパートナーズ	糸魚川健康づくりパートナーズ	糸魚川健康づくりパートナーズ
総利用者数	88,707	97,521	101,259
(フィットネス利用者数)	22,400	25,297	26,440
(スタジオ利用者数)	17,186	18,446	17,595
(プール利用者数)	24,867	25,344	26,930
(3)施設の設置目的達成に関する取り組み			
<p>・ピラティスビューティーメーカーを利用したピラティスの導入など新アイテム導入し、既存のプライベートレッスンと合わせて質の高い個別指導を提供いたしました。また、ゆず湯などのイベント湯の実施や、1月3日に臨時開館して、頻度向上に努めました。</p> <p>その結果、目標数値(総利用者数:97,000人、収入額:109,436千円)を上回る利用者数・収入で、『市民の健康づくりの推進を図るとともに、市民に憩いとふれあいの場を提供する』ことができたものと考えます。</p>			

## (4)収支状況

(単位:千円)

区 分	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度(予算)		
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画		
収入	売上高	指定管理料	59,368	59,368	67,411	67,411	67,411	67,411	
		指定管理料(減収補填)	0	0	0	0	0	0	
		利用料金	31,146	24,466	24,788	26,031	27,500	28,829	28,500
		教室受講料	12,675	12,108	11,542	11,545	12,250	12,934	13,000
		その他営業収入	1,169	2,190	1,628	2,694	2,275	3,600	2,420
	小計	104,358	98,132	105,369	107,681	109,436	112,774	111,331	
	営業外収益								
		小計							
	※1								
計		104,358	98,132	105,369	107,681	109,436	112,774	111,331	

※1 特別利益

支出	売上原価								
		小計							
		販売費一般管理費	人件費	57,781	54,739	58,651	58,004	59,884	59,727
	消耗品費		9,260	7,573	7,290	8,180	8,825	9,504	8,875
	修繕費		1,323	682	1,100	1,100	1,100	1,073	1,100
	電気料		0	0	0	0	0	0	0
	ガス料		0	0	0	0	0	0	0
	水道料		0	0	0	0	0	0	0
	下水道料		0	0	0	0	0	0	0
	通信運搬費		696	682	547	499	600	674	550
	手数料		115	295	219	285	360	351	500
	点検業務委託料		14,915	15,018	14,860	14,860	14,860	14,860	14,860
	清掃業務委託料		8,239	8,238	8,238	8,238	8,238	8,238	8,238
	水質検査委託料		1,727	1,727	1,727	1,727	1,727	1,727	1,727
	減価償却費		0	0	0	0	0	0	0
	借上料		264	250	522	170	250	255	251
	印刷製本費		150	87	115	90	115	80	115
	保険料	548	397	420	398	430	397	473	
	事業費・原材料費	2,496	1,417	824	1,944	1,480	3,287	1,650	
一般管理費	6,844	5,088	5,011	5,250	5,587	5,639	5,978		
小計	104,358	96,193	99,524	100,745	103,456	105,812	105,323		
営業外費用									
	小計								
※2									
※3									
計		104,358	96,193	99,524	100,745	103,456	105,812	105,323	

※2 特別損失 ※3 法人税等

当期純利益	0	1,939	5,845	6,936	5,980	6,962	6,008
-------	---	-------	-------	-------	-------	-------	-------

「収支状況」における市の状況分析	<p>別途租税公課の支出あり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物価の高騰が続いていたが、利用者数の増加及び物販が好調だったことにより収入が増え、黒字収支となった。</li> <li>・物販が好調だったのは、毎月販売アイテムを変更することで、マンネリ感がなく利用者を引き付けることができたと考える。また、施設利用に必要なアイテムを市内で購入できるメリットもあり、高価な商品でも販売実績がよかった。</li> <li>・支出では、物販用の商品の仕入れにより事業費が増加しているが、その分収入でカバーできている。また、固定費は、ほぼ計画どおりの執行となった。</li> </ul>
------------------	--

### 3 適正な管理運営の確保

目標管理	評価指標	利用者の安全確保、適正な施設管理
	目標	適正な施設の運営・維持管理を行うこと。また苦情や緊急時などに迅速かつ適切に対応すること。
	実績	事業計画書に基づき適正な管理運営を行い、苦情や緊急時についても迅速に対応した。

実施状況	点検項目	【実施状況】
	・施設の設置目的を十分に理解し、適正な管理運営をしているか。	設置目的を事務所に掲示。全従業員が共有して安全快適な施設提供に努めた。
	・誰もが利用できる仕組みを構築し運営しているか。	利用方法・ルールを館内掲示しスタッフが声掛けを行っている。障がい者駐車場、施設利用への案内をエントランス及びホームページに掲示している。ユニバーサルマナー資格を取得し、基本的な向き合い方やお声かけの方法を実践できるよう研修を受けた。外国籍の方へ多言語放送を継続実施している。
	・協定書及び仕様書等に基づいて設備の保守点検や備品の点検を適正に実施しているか。	各種点検結果は毎月提出するとともに、定例会にて報告・協議を行った。
	・協定書、事業計画書等で定めた職員体制がとられているか。	防火管理者を始めとした資格取得や協定書に定められた適切な人員配置を行い、施設の安全と快適な運営に努めた。
	・利用者が安全、安心して利用できるような緊急・救急体制を有しているか。	有事発生時の対応フローを事務所に掲示し、毎月緊急対応シミュレーションを実施した。
	・事故防止や事故発生時の対応について研修等を実施しているか。	スタッフ全員AED&CPR資格を取得した。年2回消防と連携しての自主防災訓練を実施した。毎月、安全ミーティング及び居室別緊急シミュレーション訓練を実施した。
	・利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応	温浴のみの金額設定が欲しいというお声に対し健康増進施設ということでお風呂のみの設定はないとの返答した。入れ墨の人は利用禁止にしてほしいというお声に対し、入れ墨だけで差別はできず、平等な利用ということでご理解いただいた。

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評価	A+	A+
	評価理由	設備点検、水質検査など適正に実施した。水質検査結果は館内に掲示しており、臨時休館なく運営できた。全職員CPR&AEDの資格を所持し、居室シミュレーションも行い、安全を意識した運営を実施した。車いす利用者や高田特別支援学校白嶺分校の受け入れなど障がい者対応も通常運用出来た。	各種保守点検や水質検査等も適正に実施されており、点検状況や点検結果、対応内容についても毎月の定例会で共有できている。また、年2回消防と連携して自主防災訓練を実施しており、初期対応やお客様対応など、有事への備えが整っており、安全に運営ができたと評価できる。
改善事項	館内利用マナー及びルールの周知徹底。故障設備及び備品の早期修理。	マナー改善については、理解を得られるよう丁寧な説明を心がけていただきたい。設備等の不具合発生時は、事故防止を念頭に市と共有しながら早めに修繕を進めていくこととする。	

#### 4 利用者サービスの向上や利用者数増の取り組み

目標管理	評価指標	利用者人数の増加					
	目標	総利用者:97,000人、フィットネールーム:25,000人、スタジオ:19,000人、プール:26,500人					
	実績	総利用者:101,259人、フィットネールーム:26,440人、スタジオ:17,595人、プール:26,930人					
資料							
		項目	①R6 目標数	②R6 実績数	③R5 実績数	達成率 (②/①)	対全年度比 (②/③)
		総利用者数	97,000	101,259	97,521	104.4%	103.8%
		フィットネス	25,000	26,440	25,297	105.8%	104.5%
		スタジオ	19,000	17,595	18,446	92.6%	95.4%
	プール	26,500	26,930	25,344	101.6%	106.3%	

	点検項目	【実施状況】
実施状況	・施設の設置目的を達成するための具体的な取組があったか。	毎月1週目に体組成測定、第3週目に項目別体力測定を行い、効果の可視化を行った。
	・利用促進に向けた取組みに努めているか。実現可能な利用促進策を実施しているか。	毎月スタンプラリーや測定会を実施した。祝日のスタジオは特別プログラムを実施した。毎月アイテムを変えた販売会を実施した。
	・教室、イベント、自主事業などの取組み状況	はびねすでは最大のイベントであるスポーツの日無料開放を実施した。プールではLINEを使った申込やインスタなどでのPRを行った。
	・利用者数増加のためのPR活動は実施しているか。	外部営業の実施やSNSの利用、広報いといがわの掲載や出張指導時にパンフレットの配布等を行った。
	・利用者アンケート等を活用し利用者の要望や意見を把握しているか。また対応策を講じているか。	全利用者を対象とした利用者アンケートを年1回実施し、また施設内に『お客様BOX』を設置して常時ご利用者からご意見をいただける体制にして即時対応できるようにした。
	利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応	45分のヨガを60分にしてほしいと要望があったが、前後のプログラムとの兼ね合いがあり、現状難しいと回答した。

	指定管理者の自己評価	市の評価
評価	A+	A-
評価等	評価理由	スタジオプログラムや水泳教室は、幅広い年齢層が参加できるように内容が工夫されており集客につながったものと考えている。また、施設の無料開放や出張指導による新規利用者の獲得に努めるなど、様々な営業努力により年間利用者数が10万人を突破したことは高く評価する。施設の周知については、ホームページやSNSの活用が弱いので時代に合った活用のほか、市の現状に合った方法を検討し実施していく必要がある。また、可視化したデータをオープンにし、運動効果をアピールして集客につなげることも重要である。
	改善事項	新規利用者獲得については、自主事業の実施やSNSの活用による施設周知の他、指定管理者の営業スキルを十分に発揮した取り組みが必要と考える。また、継続利用者を対象としたキャンペーンやイベントを実施し、継続意欲を高める取り組みも必要である。

## 5 収支や収益の向上に関する取り組み

目標管理	評価指標	収入及び収支の達成状況						
	目標	109,436,000円						
	実績	112,774,704円						
資料		項目	①R6 目標額	②R6 実績額	③R5 実績額	達成率 (②/①)	対前年比 (②/③)	対前年差 (②-③)
		利用料金収入	27,500,000	28,828,922	26,031,365	104.8%	110.7%	2,797,557
		教室受講料収入	12,250,000	12,934,609	11,544,640	105.6%	112.0%	1,389,969
		自動販売機収入	600,000	647,497	745,525	107.9%	86.9%	-98,028
		スポーツ関連商品販売収入	1,450,000	2,694,853	1,721,604	185.9%	156.5%	973,249
		その他	225,000	257,823	227,000	114.6%	113.6%	30,823
		合計	42,025,000	45,363,704	40,270,134	107.9%	112.6%	5,093,570
		収入(指定管理料含む)	109,436,000	112,774,704	107,681,134	103.1%	104.7%	5,093,570
		支出	109,436,000	105,812,163	100,745,470	96.7%	105.0%	5,066,693
		差し引き	0	6,962,541	6,935,664			26,877

点検項目	【実施状況】
・施設の設置目的に沿った経費の執行ができたか。	協定書に則った人員配置での労務費執行や光熱水費の節約を心がけた。
・利用料収入の目標達成度	回数券スタンプラリーを実施し既存利用者の頻度が向上した。外部営業及び指導により新規の取り込みができた。
・収入増加のための取組みを実施しているか。	1月3日の臨時開館では約90人の利用があった。プライベートレッスンを実施し指導料売上が増加した。商品売上は毎月販売会を実施し目標比185%となった。
・収支決算書は適正に作成されているか。	年度事業報告書にて報告
・経費削減や業務の効率化に取り組んでいるか。	チェックアウト時に「忘れ物はありませんか？」一言を付け加えたことで、忘れ物の件数が40%削減。忘れもの処理にかかっていた時間を接客にむけられた。複合機のスタッフ向け印刷物はNアップ・両面印刷を徹底。
利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応	特になし

	指定管理者の自己評価	市の評価
評価	A+	A+
評価理由	外部営業やセミナーを実施して新規顧客の獲得を行った。内部では有料指導と商品売上を強化し来場1人当たりの客単価を増加させたことで、利用料及び利用料外収入が増加した。指定管理料以外の変動売上は目標比107.9%。	料金収入が大幅に増加したのは、指定管理者の営業努力によるものと高く評価する。物販の売上増加についても、ウエアやシューズ、飲料水など需要を見込んだ商品選定が行えているものとする。また、光熱水費は市が負担しているが、毎月の使用量を共有し、経費削減を意識して運営していただいている。
改善事項	唯一新規参加に敷居が高いスタジオ参加者が減少。新規アイテム導入などで新規を取り込んでいく。	新規利用者の確保と継続利用者の継続意欲の向上につなげるため、利用者の需要等の分析を行い、イベントの創出と物販に反映させることが重要と考える。

## 6 公の施設の設置目的と全体評価

		市の評価		
		設置目的	目標管理（評価指標）の再掲	指標別評価
検 証 等	評 価	市民の健康づくりの推進を図るとともに、市民に憩いとふれあいの場を提供する。	適正な管理運営の確保	A+
			利用者サービスの向上	A-
			収支の実績	A+
		評価内容		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少が進む中、令和4年度から連続して前年比を上回る利用者数となっており、令和5年度に累計100万人突破、令和6年度に年間利用者10万人を達成したことは、出張指導やイベントの実施などの営業努力によるものであると高く評価できる。</li> <li>65歳以上の利用者も年々増加しており、全体の31%となった。そのうち60%が運動利用となっており、健康づくりに対する意識の醸成に寄与した。</li> <li>施設管理においても、適切な清掃消毒作業の実施、季節等に応じて空調や浴槽の温度を適切に管理し、快適に利用できる環境を提供するとともに経費節減に努めている。</li> <li>上記の内容に指標別の評価を含め、総合的に判断し「A」の評価とする。</li> </ul>	A	
	課題検証	<p>増加している利用者数を維持するため、今後は人口の年齢構成にあった事業展開が必要であり、働き盛り世代を取り込む取り組みが重要と考える。</p> <p>また、施設周知は、これまでの出張指導も有効な手段であるが、SNS等のコンテンツを最大限に活用し、スタジオプログラムや水泳教室等の事業内容を具体的に周知し、その運動によって得られる効果をPRすることも必要である。</p>		
	改善事項	<p>新規利用者の取り込みや施設のPRのため、フィットネスとプールが一体となった事業展開も必要と考える。</p> <p>また、市民の健康意識の向上及び施設の利用促進のため、運動効果を可視化したデータは、市と連携しながら有効活用すること。</p>		

### 【総合評価】

評価区分	判断基準
AAA	優良である
AA	良好である
A	適正である
B	課題がある
C	改善を要する

## 公の施設指定管理者選定委員会（評価委員会）の意見書

1 指定管理者名 糸魚川健康づくりパートナーズ

2 対象施設 糸魚川市健康づくりセンター

3 評価委員会の意見

項目	意見
対象施設に対するもの	<ul style="list-style-type: none"><li>・新規会員の取り込みが課題。データの可視化など運動効果をアピールすることにより集客に努めること。</li><li>・利用料金について、人件費もあがってきているので、あげることも検討すること。</li><li>・物販について、利用者のニーズを的確にとらえることで売り上げ増につながる。今後も品揃え等を検討すること。</li><li>・利用者のマナーの徹底について、改善につながるような周知について検討すること。</li></ul>
指定管理施設全体に対するもの	<ul style="list-style-type: none"><li>・前回の指摘事項がどう改善されたかわからない。今回の指摘事項は次回に報告すること。</li><li>・記載内容で前回と同じ表現となっているが、同じであれば同様であることがわかるようにすること。</li><li>・市の方も指定管理者の改善を確認するよう取り組むこと。</li></ul>